

電子工学科		プログラム言語				
学年	第2学年	担当教員名	山田 昌尚			
単位数・期間	1単位	後期	週当りの開講回数	1回	必修	履修単位
授業の目標と概要	C言語を用いてプログラムの作成に必要な基本的な知識とスキルを身につける。そのためにC言語の文法を解説しながら、まずプログラムを読むこと、次に自分が書くことを行う。					
	釧路高専目標	D:100%	JABEE目標			
履修上の注意 (準備する用具・前提となる知識等)	特別な知識は必要としない。授業時間中に演習の時間を設けるが、それ以外の時間にも課題を実行すれば理解が深まる。					
到達目標	・C言語で書かれたプログラムの動作を説明できる ・与えられた課題を達成するプログラムをC言語で作成できる					
成績評価方法	合否判定: 定期試験(4回)の平均60点以上を合格とする 最終評価: 定期試験(4回)の平均					
テキスト・参考書	教科書:「明解C言語 入門編」, 柴田望洋, ソフトバンクパブリッシング 参考書:「解きながら学ぶC言語」, 柴田望洋(監修), ソフトバンクパブリッシング					
メッセージ	この科目と題3学年の「プログラム言語」で、ひと通りのC言語文法を学習する。C言語は第4学年の「電子工学実験」および「演算工学」で使用する。また、プログラミングは第5学年の卒業研究で必要となる場合も多く、就職してから直接役立つ能力にもなる。この科目はそれらの基礎となるので、自分の手と頭を使ってしっかり学習すること。					
授 業 内 容						
授業項目			授業項目ごとの達成目標			
前期中間試験						
前期期末試験						
1. プログラムの入力と実行(2回) 2. 演算と型(2回) 3. 制御構造1 - 分岐(3回)			・プログラムを入力し、実行できる ・int型, double型を使って四則演算ができる ・if文, switch文を使うことができる			
後期中間試験			実施する			
4. 制御構造2 - 繰り返し(4回) 5. 配列(3回)			・for文, while文, do ~ while文を使うことができる ・多次元配列を使うことができる			
後期期末試験			実施する			